

8

農地転用状況

(単位: 件, a)

区分 年度	総 数		住宅用地		工場用地		その他の建物用地		公共用地		その他	
	件 数	面 積	件 数	面 積	件 数	面 積	件 数	面 積	件 数	面 積	件 数	面 積
平成25年	166	1,171	74	283	1	8	18	149	16	194	57	537
平成26年	158	11,610	62	241	2	6,690	5	2,794	15	159	74	1,726
平成27年	165	1,854	83	300	57	786	5	29	10	529	10	210
平成28年	184	2,579	82	272	48	1,192	23	120	13	770	18	225
平成29年	180	2,168	66	244	5	615	15	84	15	44	79	1,181
平成30年	192	4,428	68	272	3	132	24	2,871	10	47	87	1,106
令和元年	187	1,911	82	363	3	52	22	206	6	275	74	1,015
令和2年	175	2,169	60	239	1	12	8	131	12	86	94	1,701
令和3年	221	9,697	88	300	3	5,183	19	2,093	14	680	97	1,441
令和4年	161	2,133	67	249	1	0	9	77	7	43	77	1,764
令和5年	176	2,000	79	306	2	10	5	12	0	0	90	1,672

資料: 農業委員会

2020年農林業センサス結果(茨城県結果)

<経営耕地の状況>

農業経営体の経営耕地総面積は105,513haとなり、5年前と比べ10,695ha(9.2%)減少した。減少した面積を耕地種類別にみると、田が5,604ha(7.6%)、畑が4,039ha(10.6%)、樹園地が1,051ha(24.2%)減少した。なお、経営耕地面積105,513haは全国第5位(5年前と同様)である。

<経営耕地面積規模別経営体数>

農業経営体数を経営耕地面積規模別にみると、10.0ha未満の階層では0.3ha未満層を除き5年前と比べすべて減少し、10.0ha以上の階層では150.0ha以上層を除き増加した。また、全体に占める割合でみると、0.5～1.0ha層27.8%、1.0～1.5ha層17.1%、0.3～0.5ha層14.4%の順で高くなっている。

資料: いばらき統計情報ネットワーク

2020年農林業センサス結果の概要(確定値)より